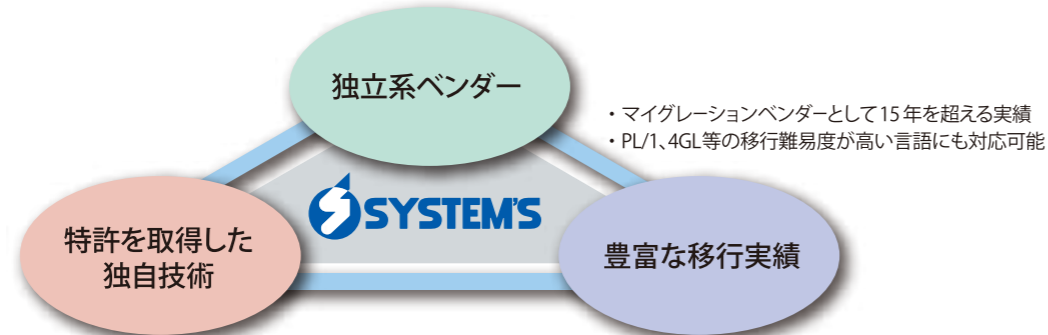


マイグレーションプロバイダ システムズの強み

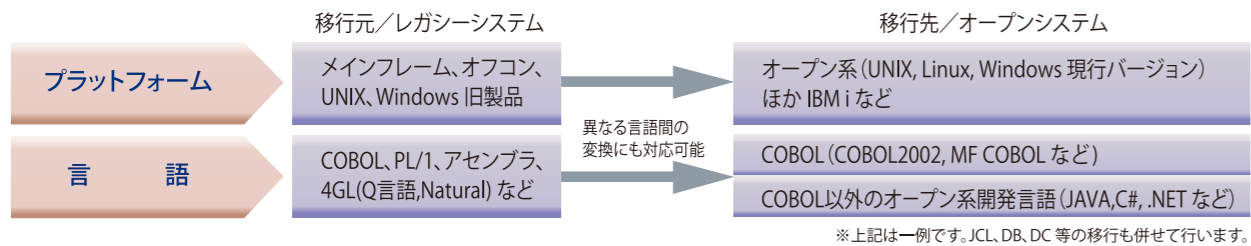
- ・メーカー系ベンダーと異なり、異機種間の移行提案が可能
- ・メーカー都合に左右されない基盤、ミドルウェアの検討が可能



- ・国内及び海外で複数のマイグレーション特許を取得
- ・現行システム分析を重視した独自の移行技術を保有

システムズのマイグレーション モデルケース

プログラムソースの「リライト」によるマイグレーションで、Any to Any の移行を実現します。



幅広い業種への豊富な移行実績

製造：基幹システム、生産管理システム、営業管理システム
 金融：債権情報計算・配信システム
 外食：基幹システム、店舗システム
 運輸：物流システム
 出版：販売管理システム、外国雑誌システム
 公共：人事給与システム

※：異言語からの移行例やマイグレーション適用実績について、詳しくは弊社担当営業にお問い合わせください。

システムズのマイグレーション サービス

お客様の抱えるレガシーシステムの現状に合わせたマイグレーションサービスを提供いたします。

クラウド化の課題をマイグレーションメソッドで解決 クラウド化コンサルティングサービス	メインフレーム移行で避けては通れない COBOL to COBOL マイグレーション
豊富な経験とノウハウをもとに最善の選択肢を提案 システム再構築 方向性診断サービス	第4世代言語からの移行の悩みを解決 4GL to COBOL マイグレーション
マイグレーションのスタートは有効資産の正確な把握から ソフトウェア資産棚卸サービス	ベンダー固有の開発言語からの変換も実現 PL/1 to COBOL マイグレーション
レガシーシステム刷新・再構築成功の最大の鍵を握る マイグレーション移行性検証サービス	ベンダー固有のDBと開発言語からの移行にも対応 Adabas/Natural マイグレーション
	オープンレガシー資産のヴァージョンアップや移行の悩みを解決 Windows レガシーマイグレーション

※マイグレーションサービス内容は改善のため予告なく変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
 ※本カタログの内容は、2011年4月現在のものです。
 ※本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ** マイグレーション事業本部
 東京都品川区西五反田7-24-5(日本生命西五反田ビル8F)
 TEL:03-3493-0032(ダイヤルイン) FAX:03-3493-2033
<http://www.systems-inc.co.jp/> マイグレーションWebサイト <http://www.migration.jp/>
 E-mail : migration@systems-inc.co.jp

システムズの

レガシー

ITシステム刷新・再構築を
成功に導く
リーディングプロバイダとしての
専門力×実現力

技術力

特許を持つパターン分析など独自技術を核とした
専門企業ならではのノウハウを提供

設計力

標準化・手順化による移行プロセス管理と、
ツールだけに依存しない移行設計重視思想

解析力

移行リスクの低減や工数削減を実現する十分な調査・分析と
棚卸によるリスクの洗い出し

対応力

PL/1 や NATURAL、4GL などの異言語マイグレーションにも
豊富な実績と独自手法で対応

マイグレーション



“確実なマイグレーション”が、システムズのコネプト。

独自手法と豊富な経験による高品質なエンジニアリング型マイグレーションを提供

マイグレーションのリーディングプロバイダとして、システムズが第一に考えているのは、“移行リスクを抑えた確実なマイグレーションの提供”です。高品質なマイグレーション実現には、理由があります。

1 マイグレーション上流工程にフォーカスしたアプローチ

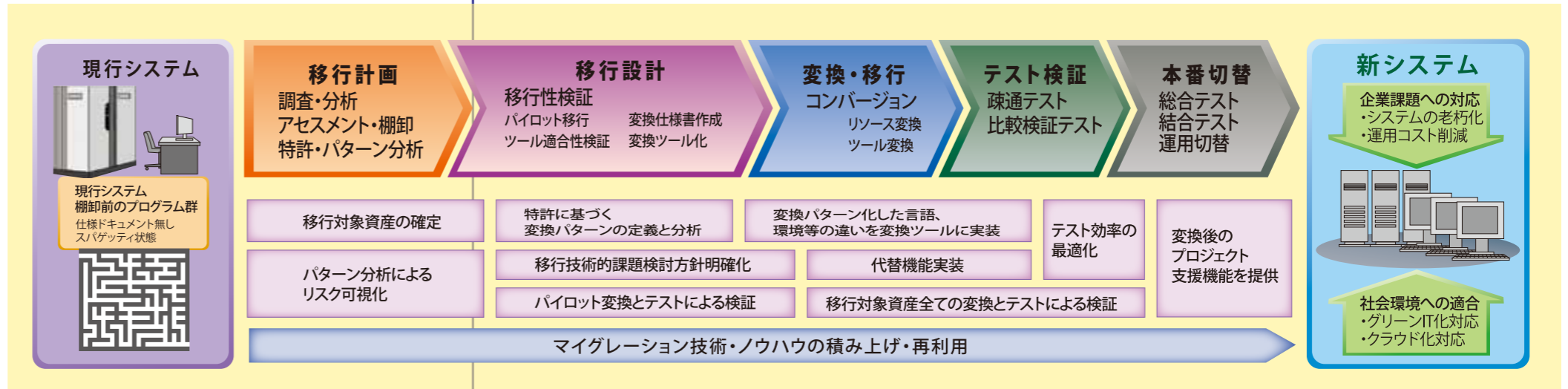
徹底した事前調査／分析と移行設計を重視し、資産棚卸と移行性検証によって潜在するリスクを可視化します。

2 特許に基づく独自手法と固有技術の積み上げと洗練化

パターン分析による変換箇所のデータ化、変換ツールの最適化、パターン網羅性から導くテストの効率化

3 継続的な品質向上へのチャレンジ

プロセスの標準化、分析・変換結果とパターンの蓄積・洗練化・再利用により移行品質と生産性・保守性向上を図ります。



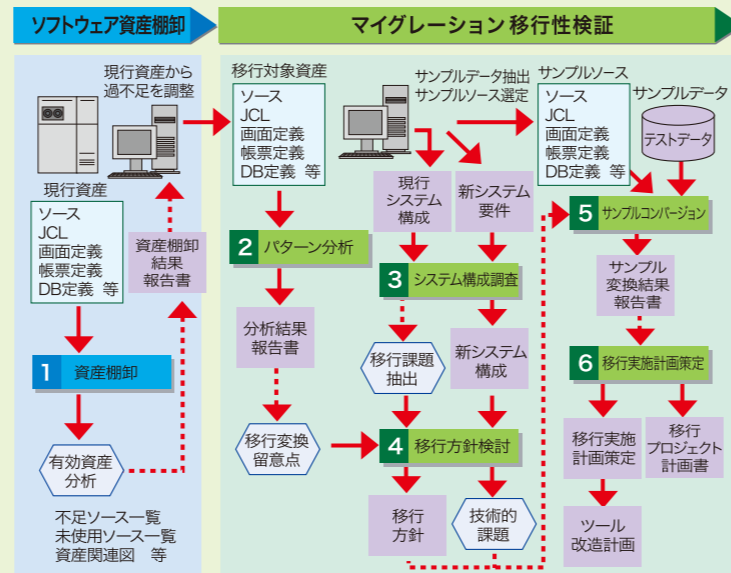
システムズだけが実現できる 移行対象プログラムの分析方法「パターン分析」

システムズのマイグレーション手法の最大の特徴は、事前の調査・分析、移行設計、変換ツールの最適化という上流工程にあります。当社は、国内外で8つの特許(2011年3月現在)を取得しており、その核となる独自の「パターン分析」手法を用いて調査・分析を行っています。これにより、変換ツールの最適化や正確なリスクの把握を可能とし、マイグレーションの品質確保を実現しています。(※特許第3494376号)



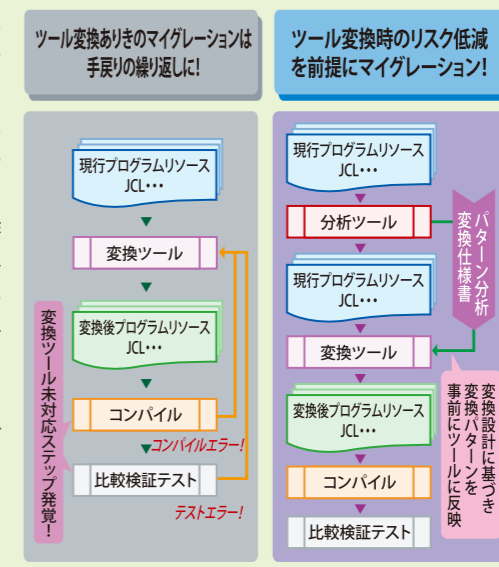
マイグレーションは上流工程が鍵 資産棚卸から移行性検証

マイグレーションを成功させるには、対象資産の棚卸から移行性検証により既存システムの問題点を洗い出し、「計画」「ツール」「作業手順」「生産性」を確保することが重要です。当社は、単なるツール変換ではなく、既存システム資産のアセスメント・棚卸から移行設計までの上流工程にフォーカスした「設計重視による高品質なマイグレーション」をコンセプトにしています。



マイグレーションの落とし穴をカバー！ ツール変換ミスを解消できない手戻り問題を解消

「変換ツール」による変換ミスを解消できずにマイグレーションで失敗した経験はありませんか？ 当社では、ソースコードに表現されない OS の機能などの欠落が変換後のテストで発覚、そのために動作検証をしながら問題箇所を手作業修正するといったロスの多いもぐらたたき方式の移行作業から脱却した手法により、コストメリットだけでなく、リスクのない高品質なマイグレーションをお約束します。



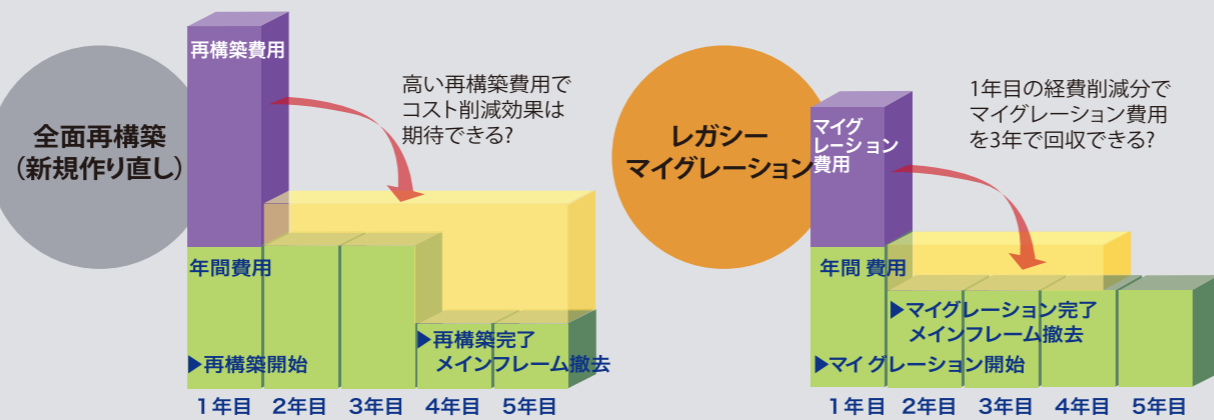
テストも品質確保のポイント 比較検証テストを必須化

プロバイダによってマイグレーションの費用はどのように異なるのでしょうか。テストには、疎通・比較検証テストと結合・総合テストがありますが、当社ではマイグレーションの品質を確保するには、比較検証テストまで必要と考え、基本的にすべての変換対象プログラムについて比較検証テストを行います。

システム再構築における マイグレーションの優位性

マイグレーションのコスト削減効果

マイグレーションは、システムの全面再構築に比べ、開発コストを抑え開発期間を短くできます。さらに、移行後の運用・保守コストの低減により、開発投資の早期回収を図ることができるのです。



※全面再構築とマイグレーション比較によるコスト削減シミュレーションの一例

システムズの マイグレーションが 解決できること

■完全オープン化による柔軟性を実現

マイグレーションの多くは、ベンダーに依存した既存システム資産の活用や、ベンダー独自の変換ツールの使用などでベンダー・ロックインが移行後も運用・保守性の妨げとなります。当社のエンジニアリング型マイグレーションなら、完全なオープン化を実現、運用・拡張性を最大限に活用可能です。

■難易度の高い異なる言語間の変換に対応可能

現行システム分析を重視したエンジニアリング型マイグレーションプロバイダならではの強みは、異言語の特性の把握、難易度の高い異言語環境からの高品質移行にも活かされています。